

今週（7月8日から7月12日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コール市場は、積み最終週となったものの相場に大きな変化は見られなかった。
無担保コールO/N物については、引き続き調達ニーズが強く、出合い水準は週を通して0.075~0.078%が中心となった。
その結果、加重平均レートは11日(木)まで0.077%の横這い推移が続き、積み最終日となった12日(金)も、概ね同様の展開となった。
ターム物については、1M~3M程度の期間が中心となり、0.15~0.23%で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初8日(月)は546兆円程度でスタートしたが、10日(水)に5年債と短国の発行を受け、544兆円まで減少した。その後も12日(金)に20年債の発行や財政資金の揚げ要因などから一段と減少する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、概ね0.05~0.08%程度での推移となった。
SCIは、カレント銘柄近辺や、チーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、引き続き3M~6Mゾーンが強い水準で推移した。
9日に行われた6M物の入札は強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも、堅調に推移した。12日に行われた3M物の入札は、無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットではやや堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、鉄鋼、建設業、小売業で大型発行がみられたものの、市場残高は、24兆円台前半と、前年比▲2兆円程度で推移している。
発行レートは、銘柄や期間によって、投資家の運用目線にばらつきがみられた。

また、11日(木)に行われたCP等買入オペは、事前予定通り3,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.191%、平均落札レート0.200%と、前回(按分0.167%、平均0.184%)比で按分、平均ともに上昇した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/8 (月)	40,780.70	1.085	160.72	0.077	0.058	5,458,500
7/9 (火)	41,580.17	1.070	161.00	0.077	0.069	5,461,600
7/10 (水)	41,831.99	1.085	161.49	0.077	0.076	5,443,800
7/11 (木)	42,224.02	1.080	161.60	0.077	0.053	5,447,700
7/12 (金)	41,190.68	1.045	158.20	0.077	0.080	5,428,500

来週（7月16日から7月19日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/15 (月)	海の日				
7/16 (火)	5月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	流動性供給 6,000億円 7/17発行			6月の米小売売上高 5月の米企業在庫
7/17 (水)		交付税借入 13,000億円 7/25借入			米ページブック 6月の米住宅着工件数 6月の米鉱工業生産・設備稼働率 6月のユーロ圏消費者物価指数改定値 6月の英消費者物価指数
7/18 (木)	6月の貿易統計(財務省 8:50) 5月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB1Y 32,000億円 7/22発行	GX5Y 3,500億円 7/19発行		ECB定例理事会
7/19 (金)	6月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 52,000億円 7/22発行			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/15 (月)	海の日								
7/16 (火)	1,100	▲ 31,700	▲ 30,600	CP買入 国債補完	▲ 300 20,700		20,400	▲ 10,200	TB3M発行▲52,000償還58,000 個人向け3・5・10Y発行▲4,600 個人向け償還1,300
7/17 (水)	2,000	▲ 6,000	▲ 4,000	CP買入		3,000	3,000	▲ 1,000	流動性供給▲6,000
7/18 (木)	2,000	10,000	12,000				0	12,000	交付税借入▲13,000期日13,000
7/19 (金)	1,500	▲ 4,000	▲ 2,500	気候変動オペ	▲ 34,400		▲ 34,400	▲ 36,900	GX5Y発行▲3,500
週 間 合 計	6,600	▲ 31,700	▲ 25,100	—	▲ 14,000	3,000	▲ 11,000	▲ 36,100	

7/16は日銀予想、7/17以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、新しい積み期間に入るが引き続き調達ニーズの強い状況に変わりはないと思われ、レートについても今週と同水準での推移が予想される。また、外国為替市場に大きな変化があったことから、16日(火)の日銀当座預金残高が注目される。債券レポGC T/N物のレート水準は、大きなイベントは見当たらず、0.02~0.08%程度のレンジでの推移が予想される。短国市場は、18日(木)に1Y物、19日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、19日(金)に五・十日発行の前倒しが予定されており、動向が注目される。

主要なイベントは、国内では19日(金)に日6月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、16日(火)に6月の米小売売上高、17日(水)に6月のユーロ圏消費者物価指数改定値、6月の英消費者物価指数、18日(木)にECB定例理事会などが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入